

令和5年度

第一回江戸川区総合教育会議 議事要旨

日 時： 令和6年2月13日（火）午後3時15分

場 所： 第一委員会室

出席者： 江戸川区長 齊 藤 猛
江戸川区教育委員会
教育長 蓮 沼 千 秋
教育長職務代理者 平 井 俊 一
委員 天 野 安喜子
委員 森 本 勝 也

（関係職員）

経営企画部長 河 本 豊 美
経営企画部企画課長 椎 名 真 雄
文化共育部長 岡 部 長 年
教育委員会事務局
教育推進課長 飯 田 常 雄
学務課長 大 關 一 彦
教育指導課長 佐 藤 嘉 弘
学校施設課長 八 木 邦 夫
教育研究所長 百 々 和 世

○区からの説明

<現行の大綱について>

- ・ 現行の大綱は、令和元年度に策定した
- ・ 当時の長期計画「江戸川区基本構想」を踏まえて、【「家庭・地域・学校」の協働による総合的人間教育】を基本目標としている
- ・ また、基本方針としては「家庭教育の充実」、「地域での教育活動の実践」、「学校教育の充実」の3つを柱としている

<新たな大綱の策定に向けて>

- ・ 令和4年度、新たな長期計画として、目指す2100年のまちの姿を描いた「2100年の江戸川区（共生社会ビジョン）」を策定した
- ・ そして、令和5年度には、「共生社会ビジョン」に描かれた目指す姿を実現するための「アクションプラン」を策定した
- ・ いろいろな選択肢を示すことができる社会、常に寄り添ってくれる人が近くにいる「ともに生きるまち」を実現していきたい
- ・ また、「共生社会ビジョン」の内容を小・中学生にもしっかり伝えていくため、学校で出前授業も実施している
- ・ 新たな教育大綱も、この「共生社会ビジョン」に基づいたものとしていきたい
- ・ 策定に向けて委員の皆様の率直な意見をお伺いしたい

○委員からの意見

<教育大綱について>

- ・現行の大綱はとてもよくまとまっていると思う。特に「家庭・地域・学校の協働による総合的人間教育」という基本目標は素晴らしい
- ・新しい教育大綱は、現行の大綱の基本目標、基本方針は継承しつつ、その間に变化したことやこれから変わるであろうことを記載すると良いのではないか
- ・「共生社会ビジョン」や、区の教育目標との整合性があるものにしてほしい
- ・「家庭・地域・学校」の連携は、引き続き大事にしてほしい
- ・「共生社会ビジョン」に記載されている5つの「ともに生きる」も重要なキーワードである

<教育に関する意見>

- ・コロナ禍、タブレット端末の普及などにより、子どもたちの学習環境は大きく变化した。その中で一人ひとりすべての子どもたちの可能性を引き出す教育が大事である
- ・いじめ、ヤングケアラー、虐待などに対しては、少しでも早く認知し、早期に対応していくことができる体制が必要である
- ・区内に暮らす外国人は今後も増えていくことが見込まれるため、子どもたちには多文化共生についてもしっかりと学んでほしい
- ・国際化が進んでいく中では、まず日本・江戸川区の文化や伝統を学び、身に着けることが大事である
- ・年始に起こった能登半島地震を経て、防災教育の重要性をあらためて確認した
- ・災害時、避難所となる学校で多くの時間を過ごすのは、高齢者や子どもたちになる。学校のことをよく知る子どもたちを中心として、避難所の運営など、災害に対する体制を整えていくこともできるのではないか

- ・災害を乗り越えるためには、日ごろからの地域のつながりが大事である
- ・もし実際に江戸川区で地震が起きたらどのように行動すればよいかという視点をもって、区内の子どもたちに防災教育を根付かせたい
- ・将来を担う子どもたちに、多様な人たちと協調するバランス感覚を養ってもらうには、職業を通じた人間性の醸成も有効である
- ・成人年齢の引き下げに伴って、主権者教育はますます重要性を増していると考え